

合同会社高知室戸ソーラーパワー 高知室戸メガソーラー発電所

■事業概要

本事業は、高知県室戸市にある主に薪炭林として利用されてきたウバメガシの二次林であった造成地に、敷地面積 115,500 m²、モジュール容量 30,240kw の高知室戸メガソーラー発電所を建設し、太陽光エネルギーを利用して発電した電気を供給するものである。

項目	内容
利子補給対象	太陽光発電設備への融資
所在地	高知県室戸市羽根町
用途地域	—
モジュール容量	30,240kw
工事予定期間	平成 29 年 10 月～平成 31 年 8 月
供用開始予定	平成 31 年 9 月

■立地環境

事業予定地は、高知県室戸市の元々はウバメガシの二次林であったが、現在は他の事業者によって伐採工事済みとなっており、周辺は基本的に森林に囲まれている。周辺には鳥獣保護区や自然環境保全地域の指定地はないが、事業予定地の南西側約 1.8km に室戸岬国定公園がある。また、事業予定地の南東側 187m に養豚場がある。

■実施した環境影響調査

室戸市及び高知県における既存文献資料調査、並びに専門技術者による現地踏査及び地元関係者へのヒアリングを実施している。

■関係者（地域住民など）との情報交流の状況

事業に先立って、地元住民等への説明会が複数回行われた。また、環境配慮計画書の概要版を事業者のホームページ公表し、意見を受け付けた。

■事業者が作成した環境配慮の取組計画（例）

- 供用中の配慮：敷地の 2/3 を残置林として保全する。
- 建設工事中の配慮：工事用車両の走行による影響対策として、低排ガス車・低騒音車の使用、アイドリングストップ・安全走行の遵守を行う、また、工事中に発生するパネル梱包材等については、許可業者による廃棄物の適切な場外処分を行う。



環境配慮に関するコメント

事業予定地は近傍に住居等がなく周辺を森林に囲まれており、このような場所を事業予定地に選定したことは評価できる。

一方、太陽光パネル洗浄水の洗浄にあたっては、環境への影響が生じないように、使用する洗浄水や洗浄水の排水方法に適切な配慮をお願いしたい。工事中及び供用中の降雨に伴う濁水発生や雨水排水については、調整池で調整するとしているが、モニタリング調査を行いながら必要に応じて調整池の増設や排水路の整備など適切な対応をお願いしたい。また、供用後も残置林を適切に保全するとともに、必要に応じて土砂流出防止対策を講じるようお願いしたい。さらに、フォローアップについては、設計時及び工事中だけでなく、存在・供用時にも濁水の発生や動植物への影響がないことを確認するようお願いしたい。この他、太陽光発電設備が使用済みとなって排出される段階においては、その時点での最新の知見を踏まえて、リユース・リサイクル・適正処分に努めるようお願いしたい。